



JAL不当解雇撤回ニュース

No557号 2018.03.05
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

2月21日 JAL不当解雇撤回国民共闘 第8回総会を開催

植木社長が退任を前にして発言「自分の代で解決したい」

チャンス逃さず、一気呵成に解決目指そう

2月21日、文京区民センターにおいて、国民支援共闘の第8回総会が開催されました。総会は、共同代表の金澤全労協議長の、2018年内の解決を視野に入れた力強い開会あいさつで始まりました。津恵事務局長からは、第7回総会以降の経過と到達点、および今後の方針が提起されました。報告や討論では、当該労組、原告団、そして支援者の3者が一体となり、社長に有言実行を迫り、解決への決断をさせる意気込みが述べられました。闘いの経過と到達点、今後の方針、第7期決算及び第8期予算、第8期の体制についての各議案は、全体の拍手で採択されました。



今こそ全国的な取り組みで 解決の道筋を切り開こう

＜共同代表 金澤全労協議長＞

重ねてきた様々な取り組みが一つの力になりつつある。解決の兆しが見えてきた今こそ、解決に向けた取り組みを強めることが重要だ。

共闘会議の枠を超えて全国から結集し、これまでにない全国的な取り組みで一気呵成に解決をめざしたい。1000名いる弁護団。励ます会もある。共闘会議がある。そうし



た力を総結集して、全国津々浦々での宣伝行動、小集会、要請行動等、創意工夫を凝らした取り組みを積み重ねて行く必要がある。

2018年度中に解決への道筋を切り開き、2020年は、共闘会議に終止符を打つ年にしていこう。

国会議員から来賓のあいさつ また、メッセージを頂きました

来賓として参加した共産党の宮本岳志衆院議員と山添拓参院議員から連帯と激励にあいさつをいただきました。また、立憲民主党の初鹿明博衆院議員、共産党の辰巳孝太郎参院議員、自由党の山本太郎参院議員、社民党の福島瑞穂参院議員からメッセージが寄せられました。

キャビンクルーユニオン・乗員組合から報告と決意表明

キャビンクルーユニオン (CCU) 古川委員長	乗員組合 飯田副委員長
<p>統一要求提出から社長の発言が変化してきた。1月の経営協議会で社長は、CCUに「解決したいのかと言えれば解決したいに決まっている。やる気がないんじゃない。やりたいと思っている。後はどこで双方が歩みよるかだ」と発言。これまでの交渉や支援の力が今の局面を作り出した。</p> <p>職場実態は人員不足のまま。体調不良者が後を絶たず退職も減っていない。4月から12月まで原告が成田の職場にビラを10万枚配布して、解雇問題や職場の問題を知らせてきた。大きな節目を逃さず、現場で踏ん張り、様々な武器を使って交渉に臨んでいく。</p>	<p>18年に入り、いよいよパイロット不足が会社の経営を左右する事態になってきた。統一要求を更に具体化して交渉で追い詰めている。被解雇者で即戦力として飛べる人数を伝えると、会社は持ち帰ると答えた。そして、社長は退任が決まっていた1月の経協で、「自分の代で解決したいと思う。話し合う用意はいつでもある」と発言。会社が見出したいと思いついた表れである。</p> <p>職場の力と支援者の力、ILOとオリンピック組織委とのパートナーシップや調達コードとの関係を含めたILOの動きも力にして解決に向けた交渉に踏み出させることが課題である。</p>

異常としか言いようのない利益を上げ安全は大丈夫か。人や物にお金を使うべき。

解決を迫る好機。より多くの国民に目に見える形で訴え、本社を攻めていこう。

3月から5月にかけて全国各地で、不当労働行為の糾弾、不当解雇撤回の大集会を開きJALを社会的に包囲することが重要。全国に支援組織を作る具体化を進める必要がある。

統一要求は不当解雇撤回の言葉は入っていないが、交渉による合意で職場に戻すという中身は変えていない。解決のチャンスだから採用の要求に乗ってくるという見方は危険。

参加者からの意見・決意表明

支援の立場でなく、全ての労働者に向けられた攻撃だと捉えている。働き方改革を潰す最先端の闘いがJALの闘い。大田区民全体にJAL争議を知らしめたい。

チャンス逃さず闘う 両原告団長が決意表明

内田客乗団長と山口乗員団長が、労働組合潰しの理不尽な解雇に対し、不当労働行為判決を労使交渉でも世論でも生かし、解決のチャンスを逃がさず闘うと決意を述べました。



全国で共通認識を深め頑張ろう 共同代表 糸谷全国港湾委員長

閉会のあいさつに立った糸谷全国港湾委員長は、「出された意見は幹事会で論議する。2月3月は山場になる。全国で闘う仲間の共通認識を深め、地域や職場で頑張ろう」と呼びかけました。最後に団結頑張ろう！で集会を締め括りました。

緊急のお願い

- ◆社長宛て緊急要請はがき＝3月末まで
- ◆本社大包囲行動＝3月26日 18:30～19:30